



島根発！地域医療現場と大学を結ぶNeural GP Network

医学部附属病院総合診療医センター センター長 白石 吉彦

本センターのミッションはへき地・離島を含むすべての地域住民が安心して過ごせるよう優秀な総合診療医を養成し、持続可能な医療を提供することです。

高齢化率が35%に達しようとする日本有数の少子高齢化県である島根では、多併存疾患の診療、介護を含めた包括的医療の提供が必須であり、総合診療医の育成が急務です。ところが高度先進医療を提供する大学病院のみでは、よくある疾患をみる、家族をみる、地域をみるという総合診療医育成は容易ではありません。そこで我々は地域の総合診療医を大学の教育に呼び込み、医学生を地域に出し、地域の病院で教育することとしました。

ミッションを達成すべく、島根発で育てていく「総合診療医養成プロジェクト」(Neural GP Network)を立ち上げました。17の医療機関そして150人近いメンバーが年齢や役職、出身大学を問わず連携できるネットワークを構築し、未来の医療体制のあり方を全国そして世界へ提示していくために動き出しました。大学と地域の有機的な繋がりが生まれ、現場を知る総合診療医が教育へ関わるのが可能になり、地域医療を支える県内総合診療医割合は全国でも突出し、県内専攻医における総合診療医割合は3年連続全国一を達成することができました。島根大学内でも教育に対する評価がなされ、2年連続優良教育実践表彰を受けました。さらに、私たちの取り組みは、島根に住む人の安心・安全を心理的にサポートし、地域に住みたい人を増やす公共的なインフラ価値を提供しているとして2022年度にはGood Design賞金賞を受賞しました。

これから日本のみならず、世界が迎える少子高齢化の先進地として、総合診療医育成を軸に新しい医療の形を提示し続けていきます。

